

# 第11回 「未来座談会」

2月26日、「かね四季の会」(太田起博代表)主催の未来座談会が「茶茗館」にて開催された。

今年も第一線で活躍する3人をゲストに迎え、太田代表は「打ち合わせの段階から3人の前向きな話を伺うことができ、とても心が躍った」とあいさつした。

そんな3人が、町内外から来場した約70人に向けて語った「目の前が明るくなる話」とは一。

## 地

名区にある共同製茶工場「かね山処苑」と、シイタケをはじめとする農作物を生産する「川根美味しいたけ」の、2つの農業組合法人で代表理事を務めています。

自分が日頃から心がけていることは、「農地は子孫から借りている」ということです。「先祖代々の田畑」とおっしゃる方もいますが、それと同じように、もしこれが自分の子どもから借りている農地と考えたとしても、とても粗末にはできません。また当たり前のことではありますが、皆さんの口に入るものを作っている以上、清潔な環境づくりや新鮮さを売りにすることも意識しています。それから「旗を揚げれば人は集まる」ということ。今までの経験から学んだ大事なことです。「こういうことをやりたい」と周りに一生懸命PRすれば、さまざまな情報と人材が集まり始めます。こうして人の手助けを借りることで、自分の目的が達成できたとする経験を、今まで何度もしてきました。ただ、その中でも重視しているのは「来るもの拒まず、去る者追わず」ということです。これは自分のポリシーとしています。

また、自分は新規就農者を育てるという役目を負っていると考えています。そのため、なるべく地元には農作物を出荷しません。この地域で新規就農した人たちが地元で販売する

常に新しい人材を受け入れ  
チャレンジする農業経営を  
これからも続けていく

農業組合法人  
「かね山<sup>やまとえん</sup>処苑」  
「川根<sup>おおい</sup>美味しいたけ」

西原 睦実 代表理事



ことで、経営の足場を固めてもらいたい、という思いがあるからです。今、困っていることは、従業員の住居確保です。「美味しいたけ」には、年間を通して多数の新規就農希望者やアルバイトが働きに来てくれるのですが、彼らを宿泊させる場所が不足しています。現在は、区内の空き家をお借りしていますが、残念ながら若者のライフスタイルに合わせたような形にはなっていないので、なんとかできればと思っています。↖



栽培から加工出荷までを一貫して手掛ける「美味しいたけ」。シイタケは県内外の大型食料品店へ出荷される。

また、今の若者は、自分たちが若い頃と比べると欲がないというのが、とても不安です。すごく良い子たちだけど、もう一步「欲」を出したら、さらに成長するんじゃないか。でも、そのもう一步の欲がないということ、「なんか物足りないな」という子が多いように思います。だからこそ、挑戦する姿勢を彼らに示していくことも大事なことで感じています。これからのことを話します。まず、茶とシイタケの生産については、引き続き自社生産の拡大を目指します。特に茶については、もう少し効率良く生産ができるように、基盤整備をしていきたいと思っています。

それから、外国人や障がいのある方でも働きやすい職場にしたいと考

えています。現在でも、短期アルバイトの外国人従業員は日本語が流ちょうに話せるわけではありませんが、一生懸命働いてくれます。また、障がいのある方であっても、その方が働ける形で働いてもらっています。この世に「完璧な人」なんかどこにもいませんし、それぞれ得手不得手があります。でも、皆がお互いに足りない部分を補って仕事をシェアしていけば、世の中は上手く回っていくものだと思っていますし、そういう職場にしていきたいと考えています。私としては、60歳を迎える4年後に退職する予定です。仕事は、若い人の感性で新しいものを開拓していくべきだと思うからです。もう自分なんか、新しいことに挑戦していくには、ぼちぼち腰が重い年齢になってきました(笑)。ですから、60歳までに多くの人材を育てて、後は若い人たちが楽しい職場をつくっていったらなと、最近は思っています。



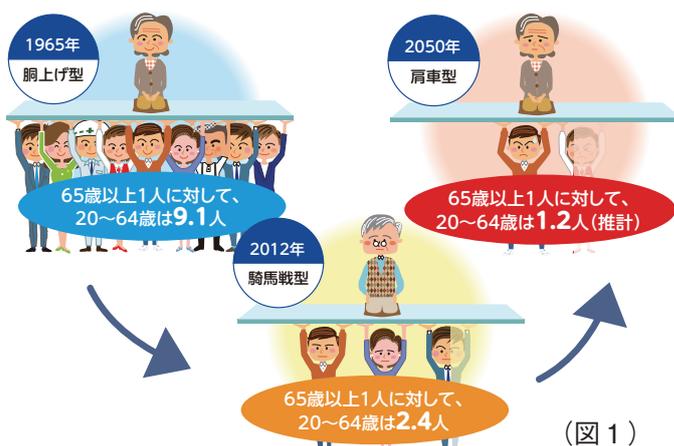
## この町で幸せに暮らし続ける そのための 仕組みづくりを 町民自身の手で

らいふ  
NPO法人「かわね来風」  
濱谷 友子 事務局長

NPO法人「かわね来風」で事務局長をしています。私たちの活動は、2009年の「三ツ星オートキャンプ場」の運営から始まりました。その後「多くの町民がずっとこの町で幸せに住み続けられるために必要なことは何か」を考えながら、「スポーツクラブ」「農家民宿」「ママ宅」「三ツ星村」「放課後児童クラブ」などの取り組みを展開してきました。その中で、今、私が特に力を入れ

ているのは、昨年から役場の委託を受けた「川根本町生活支援コーディネーター」の業務です。今回、せっかくこの機会をいただきましたので、その業務について紹介させていただきます。今後、皆さんの力をお貸しいただきたいと思っています。

政府広報の「社会保障と税の一体改革を考える」という資料には(図1)のような年齢別の人口形態を表すイラストがあります。これによれば、1965年には胴上げ型だったものが2012年には肩車型になり、2050年には騎馬戦型になります。この図では、上に乗るか、下で支えるかは、年齢で区別されています。



(図1)  
出典:政府広報「社会保障と税の一体改革を考える」